

着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事
ITOCHU SINGAPORE PTE LTD
EVP & Chief Strategy Officer
瀬尾 健



シンガポール日本商工会議所の皆さま、この度理事を務めさせて頂く事になりました、伊藤忠シンガポールの瀬尾です。昨年度まで理事を務めさせて頂いておりました弊社藤本と同じ2022年4月に赴任、既に当地では2年間の駐在期間を経ております。その間、何度か商工会議所のイベントにも参加し、メンバーの皆さまとの懇親を深めさせて頂いており、商工会議所のご活動に感謝すると共に、今後理事の重責を担う事身が引き締まる思いです。

尚、この2年間は、弊社内機械カンパニーの当エリアの管掌として、東南アジア・オセアニア地区の機械グループの事業（インフラ/電力/船舶/航空機/自動車/建設機械/産業機械等々）に従事させて頂いておりましたが、この4月に同じく当エリア全体の経営企画担当（総支配人補佐）を拝命し、弊社内8カンパニーに跨る他分野の事業も含め、益々シンガポールを含め、当エリアの発展に寄与出来ればと考えております。

1995年に伊藤忠商事に入社して以来、海外駐在としては今回で3回目となり、最初はアテネ（2004 - 2009）、次はリオデジャネイロ（2016 - 2019）と、余りアジアの風を感じさせない地ばかりではありましたが、一方、アテネではギリシャ神話を彷彿とさせる遺跡の数々、またコバルトブルーに輝くエーゲ海の島々を堪能させて頂き、またリオデジャネイロでは、奇岩の絶景と、世界的に有名なコパカバーナビーチを楽しみ、更には、ボサノバの名曲「イパネマの娘」で有名なイパネマビーチ沿いに住居を構えると言った経験をする事が出来ました。ただ、共に伊藤忠商事の現地法人に所属しておりましたが、両事務所ともに日本人は1名という小粒の拠点だったからなのか、お陰様でしっかりと地中海周辺の国々に良く見られるラテン気質を吸収し、同じ気質を色濃く引き継いでいるブラジルでより一層熟成されるという状態になっており、今後皆さまにご

迷惑をお掛けする事は必至ですので、この経歴を鑑み、何卒ご容赦頂けると幸甚です。

とは言うものの、東南アジアに関しても、両駐在期間の間の約10年前には東京より頻繁に出張で入り浸っており、少しはアジアの雰囲気も纏う事が出来ているのではと思っております・・・ゴルフによる日焼けで顔が真っ黒なところだけかも知れませんが・・・。

さて置き、その出張時代の記憶を思い返してみると、特にシンガポールに関しては、約10年前の当時と比べただけでも発展著しい経済力、また、様変わりな街並みに目を眩る思いを感じており、日本ではバルブが弾けた以降の期間を「失われた30年」などとも言われておりますが、シンガポールの合理的な考え方、判断の速さ、先進的な技術・アイデアを取り入れる柔軟性など、日本に於けるその30年が40年にならぬ様、これらを学び、シンガポール、また東南アジアの勢いを取り入れ、皆さまと共に発展出来る事を切に望んでおります。

また、両駐在地からピンと来られた方もいらっしゃると思いますが、弊社入社以来ずっと SHIPPING ビジネスに従事しており、今回東南アジアに於ける SHIPPING の集積地であるシンガポールに身を置く事が出来た事は感無量です。その SHIPPING に代表される物流、更に、金融・情報のハブにもなっているこの地で出来る事、学ぶ事は本当に多いと感じており、今後、所属させて頂く貿易・運輸部会での活動を通じ、少しでもシンガポールに於ける日本のプレゼンスを上げる事が出来る様、微力ながらも全力を尽くしていく所存です。

最後になりますが、会員企業の皆さま、事務局の皆さま、またご家族の皆さまの益々のご健勝・ご発展を祈念して挨拶とさせていただきます。今後とも宜しくお願い致します。